

1年12ヶ月の中であまり愛されない6月。祝日がないうえに、じめじめイメージの梅雨の季節ですが、雨ニモマケズ、心晴れやかに過ごしたいですね。現在会員登録数 2,666 人さま。次号は7月20日発行の予定です／

◆◆◆ 目次 ◆◆◆

【1】お知らせ

【2】コラム

《1》この本読んだ？

《2》イーハトヴ周遊 宮沢賢治の童話を読破する

《3》読書活動ボランティアのためのワンポイント 94

《4》行って来ました！

【3】全国のイベント紹介

【4】プレゼント

【1】お知らせ

● 街頭紙芝居実演「むかしの紙芝居を楽しもう！」

現役紙芝居師による臨場感あふれる紙芝居を聞いて見てみよう！子どもも大人も楽しめます！『桃太郎博士』『智恵をつかえ 中国篇』など。

日 時：7月8日（日）午後3時～4時

場 所：大阪府立中央図書館 2階多目的室（東大阪市荒本）

出 演：塩崎おとぎ紙芝居博物館 紙芝居師

参加費：無料 申込み：不要

共 催：大阪府立中央図書館 国際児童文学館

一般財団法人 大阪国際児童文学振興財団

協 力：一般社団法人 塩崎おとぎ紙芝居博物館

◇ 関連資料展示

期 間：7月3日（火）～29日（日） 休館日あり

会 場：大阪府立中央図書館 国際児童文学館（東大阪市荒本）

● 研究紀要の原稿募集

当財団では「大阪国際児童文学振興財団 研究紀要」第32号の原稿を募集しています。お申し込み、詳細は↓↓

http://www.iiclo.or.jp/06_res-pub/04_journal/boshu.html

◇「大阪国際児童文学振興財団 研究紀要 第31号」を販売しています。

発行：当財団 2018年3月 A5判128頁 1400円＋税

● 寄付金を募集しています

当財団の運営を応援いただける個人、法人の皆さまからのご寄付を募っています。寄付金は、当財団が行う講座・講演会など、さまざまな事業経費に充てさせていただきます。ぜひ、ご協力いただきますようお願いします。

お申し込み、詳細は → <http://www.iiclo.or.jp/donation.html>

● 当財団公式 Twitter → https://twitter.com/IICLO_News

【2】コラム

《1》この本読んだ？ Yasuko's & Yukiko's Talk

『カーネーション・デイ』ジョン・デヴィッド・アンダーソン/著 久保陽子/訳
ほるぷ出版 2018年4月 対象年齢：小学校高学年以上

あらすじ：小学6年生のトファー、スティーブ、ブランドは癌で入院中のビクスビー先生が転院してしまうと聞いて、学校をさぼって先生に会いに行く。途中でチーズケーキとワインとフライドポテトを買って行こうとするが、お金を盗まれるなど、さまざまな困難が立ちはだかる。作品は3人が順にこの日の出来事を語る形式になっており、それぞれと先生との関わりも回想されている。

F：12歳の少年3人の一日の冒険が描かれて興味深く読みました。トファーは両親が忙しすぎて孤独を感じ、日系のスティーブは両親が成績に執着し、優秀な姉と比較されることにプレッシャーを感じ、ブランドは母を亡くし、職場で大けがをして家に引きこもっている父と二人暮らしという複雑な家庭環境が現代的だと思いました。

Y：どの子もクラスでは少し浮いている存在で、トファーには絵の才能があり、スティーブは天才的な記憶力がありますが、ブランドは自分には何も才能がないと思っています。そんなブランドにビクスビー先生が伝える言葉が心に響きました。

F：3人が順番に1日の出来事を語る手法もおもしろかったです。それも、語り手が変わるタイミングが事件の真ただ中だったりして、後で考えると一番ふさわしい語り手になっている。その語りの中で回想シーンと現在が入り混じっているのも映画を見ているように感じました。

Y：3人それぞれに心に残る場面が用意されています。スティーブは姉との対決があり、トファーはビクスビー先生の絵を二人に見られてしまい、ブランドは自分の家族のことでビクスビー先生が援助してくれたことを二人に告白します。学校を抜け出した冒険で、思った通りに進まず、子どもであることの無力さを感じながらも、病院まで行きついたことによって友情が深まったことがストーリーから伝わってきました。

F：先生が『ホビットの冒険』を読んでくれたり、シェイクスピアや『アラバマ物語』など、作品中に物語を読むことの楽しさや意味が書かれていた点も、なぜ3人がチーズケーキなどの買い物をしたのかが謎解きになっている点もこの作品のおもしろさにつながります。

Y：邦題である「カーネーション・デイ」というタイトルの意味も最後の方で解き明かされます。死という重いテーマを描きながら、3人のやりとりが時にユーモラスで、人間の持っている生きるための底力を信じさせてくれる本でした。

* 今回のゲストは武庫川女子大学准教授の福本由紀子さん（F）です。

《2》イーハトヴ周遊 宮沢賢治の童話を読破する

第34回「銀河鉄道の夜」(その5)

ジョバンニの夢/カムパネルラの夢

「ジョバンニが見聞きして考えたこと、およびジョバンニが見聞きしえなくても洞察しあるいは洞察しえたこと以外は語らないというのが、「銀河鉄道の夜」の非人称の語りがテキストを形成していく際におのれに課した基本的な掟である」とは、天沢退二郎『エッセー・オニリック』(1987年)の指摘です。まさにそのとおりで、たとえば、「六、銀河ステーション」の夜の軽便鉄道の車室でのカムパネルラとの再会は、こう語られます。

くすぐ前の席に、ぬれたようにまっ黒な上着を着た、せいの高い子供が、窓から頭を出して外を見ているのに気が付きました。そしてそのこどもの肩のあたりが、どうも見たことのあるような気がして、そう思うと、もうどうしても誰だかわかりたくて、たまらなくなりました。いきなりこっちも窓から顔を出そうとしたとき、俄かにその子供が頭を引っ込めて、こっちを見ました。

それはカムパネルラだったのです。)

このような語りですから、前々回「銀河鉄道の夜」(その3)(当メルマガNO.92)でも述べたように、読者は、ジョバンニになって物語を読んでいきます。これが「銀河鉄道の夜」の魅力だともいいましたが、私たちは、ジョバンニとしてカムパネルラと別れる切なさも味わうのです。

ところが、「ジョバンニはカムパネルラの「夢」の中へ飛びこんだのだ」とするのは、大沢康史「「銀河鉄道の夜」は誰の見た「夢」か？」(1985年)です。大沢は、賢治の妹トシを悼む詩「青森挽歌」の一節「わたくしたちが死んだといつて泣いたあと/としはまだまだこの世かいのからだを感じ/ねつやいたみをはなれたほのかなねむりのなかで/ここでみるやうなゆめをみてみたかもしれない」などを引いて、そういうのですが。ああ、たしかに、銀河鉄道の旅が、ただジョバンニの見た夢なのではなくて、死んだカムパネルラの夢の道連れだとすれば、どんなによかったかと思うのですが、どうでしょう。

(馬車別当)

(本文の引用は、新潮文庫版『新編 銀河鉄道の夜』、『新編 宮沢賢治詩集』によりました。)

《3》読書活動ボランティアのためのワンポイント 94

その11 さまざまなご質問にお答えします(12)個人でのボランティア活動

質問：おはなしボランティアの活動に参加したいのですが、個人で活動してはいけないのですか。

以前(当メルマガNO.3)にも書かせていただきましたが、私はできる限りグル

ープで活動することをおすすめします。それは、本やおはなしを選ぶにしてもどうしても独りよがりになってしまうからです。

グループのメンバーがいると、その中で、どんな絵本やおはなしを子どもに伝えるか、どんなプログラムにするか、実際に行ってみてどうだったかなどを話し合うことができ、それによって、おはなし観や絵本観や子ども観を確認することができます。時には意見が合わなくてたいへんなこともあるかもしれませんが、同じ絵本やおはなしについて語り合いながら、その魅力を追究し、それを共有することはとても楽しい時間です。

ボランティア活動とはいえ、約束していたおはなし会に急に出席できなくなったときも、グループで活動していればお互いに補い合うことができます。

*次号は「その11 さまざまなご質問にお答えします(13)」の予定です。
ぜひ、ご質問やご意見をお待ちしております。(Y)

《4》 行って来ました！

当メルマガコラム《2》イーハトヴ周遊を、交互に連載している馬車別当とペ吉の先導で、宮沢賢治を訪ねる旅に財団スタッフ皆で行って来ました。

花巻空港に到着すると、大正12年創業の「やぶ屋」で賢治が好んだ天ぷらそばをいただいた後、身照寺に行って賢治のお墓参りをしました。賢治生家の前を通って賢治が名付けた北上川川辺の「イギリス海岸」へ行きましたが、水がたっぷりあったので、川底は見えませんでした。移築された羅須地人協会の建物(賢治が亡くなった場所)を見て、花巻農学校時代、賢治が生徒を引き連れて訪れていた大沢温泉で一泊しました。

2日目は、高村光太郎が揮毫した「雨ニモマケズ」の詩碑を見に行きました。もともと羅須地人協会が建っていたところです。そして、傍らの桜地人館で、昭和28年に行われた詩碑の除幕式のビデオを観ました。賢治の両親や高村光太郎、草野心平などが映っていてとても興味深かったです。その後は宮沢賢治記念館とイーハトーブ館。山猫軒でお昼を食べて、高速道で小岩井駅までドライブ。賢治はここから歩いたのだなと思いを馳せながら車で小岩井農場へ。その夜は盛岡に泊まりました。小岩井でも盛岡でも雪の残る岩手山が美しく、旅を見守ってくれているように感じました。

3日目は、『注文の多い料理店』を出版した光原社に行きました。今は民芸品等のお店になっていますが、奥に賢治コーナーがあり、初版本の『注文の多い料理店』が2冊も展示されていました。それから遠野の近く『銀河鉄道の夜』の空を飛ぶ列車のモデルと言われるめがね橋に行きました。幸運にも列車が橋を渡る様子が見られました。最後は、賢治グッズなどを販売している林風舎でおみやげを購入して帰阪、2泊3日の旅を終えました。

宮沢賢治ゆかりの場所をたくさん訪ねることができ、これまで読んでいた賢治作品を少し違った目で見られたような気がします。風景を思い出しながら、作品を読みなおそうと思いました。(K)

【3】全国のイベント紹介

● 新・編集者講座 特別編

◆第1回「国際アンデルセン賞の審査からみえてきたこと」

日 時：6月27日（水）午後6時30分～8時30分

講 師：土居安子（大阪国際児童文学振興財団 総括専門員）

◆第2回「おもしろい本を探せ！

ー英語圏、ドイツ、スペイン語圏の子どもの本からー

日 時：7月11日（水）午後6時30分～8時30分

登壇者：宇野和美（スペイン語）、原田 勝（英語）、若松宣子（ドイツ語）

進 行：さくまゆみこ（編集者、翻訳家、JBBY 会長）

◇各回共通

会 場：小学館本社ビル 2階講堂（東京メトロ 神保町駅）

定 員：各50名

参加費：有料 申込み：要

主 催：一般社団法人 日本国際児童図書評議会（JBBY）

● 児童文学講演会ーすべての子どもに本のよろこびをー

日 時：7月22日（日）午後1時20分から4時30分

会 場：ドーンセンター 5階セミナー室（大阪府中央区大手前）

講 師：吉富 文（イタリア語講師、翻訳家）

内 容：第1部 講演会「『チポリーノの冒険』とその周辺」

第2部 2018年度育てる会総会

第3部 対談「イタリアの児童文学はおもしろい」

吉富 文×土居安子（当財団 総括専門員）

参加費：有料 申込み：要（当日参加可）

主 催：大阪国際児童文学館を育てる会

後 援：大阪国際児童文学振興財団／大阪府子ども文庫連絡会

上記イベントの詳細およびその他の講座・講演会、展示会、公募情報については、こちらからご覧ください。↓↓

http://www.iiclo.or.jp/03_event/04_other/index.html

※イベント情報をお送りください。当財団HPに掲載させていただきます／

【4】プレゼント

本メルマガ92号で紹介しました、昨年11月開催の講演会「ドイツの子どもの本の魅力」（講師：上田真而子さん、酒寄進一さん）の報告集を1名の方にプレゼントします。ご希望の方は、メールで件名「メルマガNO. 94プレゼント希望」とし、(1)お名前 (2)郵便番号・住所 (3)電話番号 (4)メールアドレス、よろしければ (5)このメルマガのご感想 をお書きのうえ office@iiclo.or.jp にお送りください。

締切は7月10日（火）、当選発表は発送をもって代えさせていただきます／

編 | 集 | 長 | の | つ | ぶ | や | き |



「十年一昔」と言うが、確かに世の中は随分変わった。着任した十年余り前、当財団は突如激動の嵐にさらされた。それでも私達は、荒海に漕ぎ出す小船のごとく「子どもの本と文化を、子どもの未来のために」再出発したのだった。多くの事業を続けてこられたけれど、将来への展望は見出せないままだ。過去を求めるつもりはないが、全てを昔のことと割り切ることはできない。いつの日か、きっと…。

私は、ここで船を下ろさせていただく。これまでのご支援に心から感謝します。これからも財団とスタッフをよろしく申し上げます。いつまでも、ずっと…。(A)

みなさまのご意見・ご感想をお聞かせください。下記メールアドレスまでお願いします。原則として返信はいたしませんのでご了承ください。

- このメールマガジンは、ご登録いただきました皆様に配信しています。
- 配信の登録・解除・変更は、
http://www.iiclo.or.jp/m1_magazine/index.html パソコンからどうぞ
- このメールの送信アドレスは配信専用です。
- 記事の無断転載はご遠慮ください。

発行：一般財団法人 大阪国際児童文学振興財団 <http://www.iiclo.or.jp/>
〒577-0011 大阪府東大阪市荒本北 1-2-1 大阪府立中央図書館内
TEL：06-6744-0581 FAX：06-6744-0582 E-mail：office@iiclo.or.jp
